

③ 医療の質を確保するためのコスト

医療の質を確保するためには、優秀な人材、良質な医薬品・医療機器等が不可欠である。

ここでは、賃金上昇率、物価上昇率も考慮してコストを引き上げるという前提を置いた。必要引き上げ額は2,700億円である。

(兆円)

これまで計算してきた値を賃金・物価上昇率で延伸 損益分岐点比率を98%にする

科目	損益分岐点比率 98%の時 (9頁)	医療安全 対策コストの追加 (10頁)	①計	上昇率 (年率)		②上昇率 勘案後 ①×(1+上 昇率2年分)	損益分岐点 比率98% の時 (②をベー スとする)
				賃金	物価		
給与費	13.7	0.1	13.8	賃金	0.5%	13.9	13.9
医薬品費・診療 材料費、委託費	7.6	0.1	7.8	物価	0.5%	7.9	7.9
減価償却費	1.3		1.3	〃	0.5%	1.4	1.4
その他の経費	3.1	0.0	3.2	〃	0.5%	3.2	3.2
医業収益	0.4		0.4	—	—	0.4	0.4
計	26.2	0.2	(B) 26.5	—	—	26.71	(A) 26.72

参 考

厚生労働省の上昇率見込み		
	2008年	2009年
賃金上昇率	2.3%	2.5%
物価上昇率	1.5%	1.8%

厚生労働省「社会保障の給付と負担の見通し—平成18年5月推計—」

最近の平均値(2004年～直近)

賃金上昇率: ▲0.1%
消費者物価指数: ±0.0%

(A) - (B) 0.27

損益分岐点比率	98.00%	—	—	—	98.03%	98.00%
---------	--------	---	---	---	--------	--------

98%から逆算

*四捨五入差があるため内訳と合計が合わないところ等がある。

5. 今後の検討課題

以下の項目も重要課題であるが、今回の要望では織り込んでいない。一般財源で措置するもののほかは、今後、引き続き精査し、次回以降の改定で要望したい。

項目	今回対象にしていない理由
医師不足対策、医師の就労環境改善対策	一般財源で措置すべきである。
レセプトオンライン請求に向けての環境整備	特に初期導入コストについては、一般財源で措置すべきである。
医療事務軽減等のためのコ・メディカル要員増	役割分担の見直し(業務範囲、責任の所在等)を踏まえて検討する。
環境対策コスト等	今後、実態調査を踏まえて検討する。 例: 感染性廃棄物処理コスト、地球温暖化防止対策コストなど